

西予市地域公共交通活性化協議会

平成22年2月22日設置

西予市



概要

平成16年に5町が合併して誕生した西予市は人口44,948人(H17国調)。514.70km²の面積を有し、海拔0mから1,400mの高低差のある地域に集落が点在している。特に山間部は小集落が多く、公共交通機関はバス・タクシーのみであるが、交通空白地域も多い。旧町ごとでの交通システムとなっているため、効率も悪く、不公平感も根強いなど、さまざまな問題点が浮上していることから、今回、市として統一的な基準を作り、利便性の高い公共交通体系を目指す。

○地域公共交通の現況

- ・鉄道…JR四国予讃線が市内中心部を走り、特急停車駅 1駅、普通停車駅が3駅である。
- ・バス…民間路線バス事業者1社が21路線を運行しているほか、市の施策として廃止代替バス、福祉バスの運行(26路線)を行っている。
- ・タクシー…廃止代替タクシーが1路線ある。

○地域公共交通の課題

- ・路線の複雑化
- ・バス料金の不統一
- ・交通空白地域の存在
- ・高齢化の進展、独居高齢者等の生活基盤の不安
- ・交通関連経費の増大

○調査の主な内容

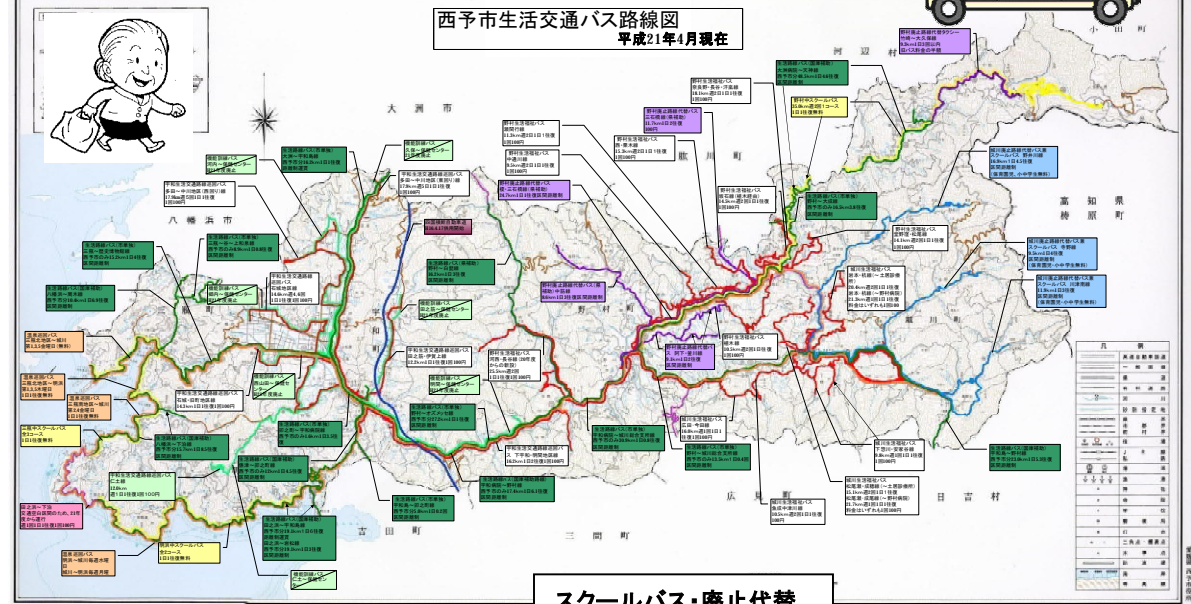
- ・現況交通実態調査(運行状況、利用状況調査等)
- ・交通利用者ニーズ把握調査(OD調査、アンケート調査等)

○地域公共交通総合連携計画の策定(予定)

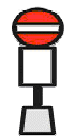
- ・料金不公平感の是正
- ・重複路線の集約化
- ・交通空白地域への新交通システムの構築
- ・学生の通学バスとしての機能強化

通院・買い物など、生活を守るための公共交通体系づくり

交通空白地域への新交通システムづくり



スクールバス・廃止代替バス・生活福祉バス等の見直し



色	運行区分
赤	主要路線(予讃線沿線、大洲市、河野町、大田町、吉田町、二岡町、日吉村、高和町、梶原町、五箇)
緑	通院・買い物など生活を守るための公共交通体系づくり(大洲市、河野町、大田町、吉田町、二岡町、日吉村、高和町、梶原町、五箇)
青	交通空白地域への新交通システムづくり(大洲市、河野町、大田町、吉田町、二岡町、日吉村、高和町、梶原町、五箇)
黄	スクールバス・廃止代替バス・生活福祉バス等の見直し(大洲市、河野町、大田町、吉田町、二岡町、日吉村、高和町、梶原町、五箇)